

県内経済の動き

概況

〔2020年1月～2020年3月の動き〕

生産面の低迷が続くなか、新型コロナウイルスの影響が懸念される

生産面をみると、鉱工業生産指数（1月）は4カ月連続の前年同月比低下と低迷している。また、通関輸出額（2月、細島港）は3カ月ぶりに前年同月比増加した。

個人消費をみると、百貨店・スーパー販売額（2月）が2カ月連続で前年同月比増加するも、「軽」を含む乗用車の販売台数（3月）は6カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（2月）は2カ月連続の前年同月比増加となった。

その他の指標では、公共工事（3月、保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年同月比増加した。企業倒産（3月）は前月比4件減の2件、負債額は2億56百万円で同11百万円減少した。有効求人倍率（2月）は1.30倍と高い水準にあるものの、前月比0.04ポイント低下した。

百貨店・スーパー販売額の前年同月比増加は、巣ごもり消費や買いだめが影響したものと考えられる。生産面の低迷が続くなか、新型コロナウイルスの本県経済への影響拡大が懸念される。